

## 平成 23 年度 第 29 回 FJ 級ヨット選手権大会が開催されました

愛知県ヨット連盟レース委員会

7月21日-24日の日程で、愛知県海陽ヨットハーバーにて「平成23年度第29回FJ級ヨット選手権大会」が67艇の参加の下、開催されました。

21日の大会計測では地元高校ヨット部の生徒が大活躍、メジャラの指示の下テキパキと計測を行っていました。「ぎふ清流国体セーリング競技」の組織強化事業として、高校生を対象としたERS講習会を開催した効果が出た様です。

一部の(古い)セールでスペックアウトとなったものの、翌朝の再計測で全艇の計測がOKとなりました。

22日は開会式を実施したものの、朝から全くと言っても良い無風、選手・運営ともども陸上待機です。14:00過ぎに、僅かな沖のブローを頼りに運営艇のみ出艇しましたが最大でも2m/S、15:10に「AP旗」+「A旗」を展開しました。蒲郡で1日中風が吹かないのは珍しい事です。

23日はこの時期の蒲郡らしい230°の風、朝からこの風向ならば終日期待できます。第1Rは1回のゼネラルリコール後、RRS30.1を適用してスタート、何艇かは勉強不足でリコールの正しい解消方法を理解していない様です。

午前2Rは福岡第一高校 村田・田中組が1-1と他を圧倒、中村学園山陽高校 埼玉・本吉組が4-2で続きます。

午後からも240°5m/Sと安定した状況下で、3Rを実施しました。午前に引き続き村田・田中組が3-1-2と安定した走り、埼玉・本吉組も1-2-3と追従します。その中で第1Rは13位と振るわなかった地元碧南高校 神谷・板迫組が3-8-4-1とスコアをまとめ、第2日目で暫定3位に位置しました。

今日の5Rを見ている限りでは、TOP5が他を大きく凌駕した走りです。下馬評どおり福岡第一、中村山陽、長崎といった九州勢が占めています。

最終日24日は朝から大会初日を思わせる無風、1カットが入る5Rまでは実施しているものの、3Rが未消化の状況下、選手・運営も何とか1Rと祈ります。

陸上で待つ事1時間、160°方向から急速にブローが拡がり始め、レース艇を10:35出艇、予告信号タイムリミットから考えると残り1Rが精いっぱいです。

最短での11:05で予告を展開するも、逸る選手がゼネラルリコールを連発、11:24にBFD艇6艇でスタートしました。

第6Rも九州勢が圧倒、特に福岡第一は2艇がBFDとなったものの、1-2-3でフィニッシュ、3番目に入った山辺・土屋組がトップホーンを鳴らし、チーム内で悲喜こもごもの歓声が上がっていました。

予定に8Rに対して6Rの実施に留まりましたが、選手・運営・指導者各位のご協力により無事大会を終える事ができました。ありがとうございました。